

○計画期間：平成27年12月～平成33年3月（5年4月）

## I. 中心市街地全体に係る評価

### 1. 平成28年度終了時点（平成29年3月31日時点）の中心市街地の概況

本市は、前基本計画（平成20年11月～平成26年3月）においての中心市街地の現状分析及び取組効果の検証を踏まえ、平成27年12月に新たな基本計画の認定を受けた。「人でにぎわうまちづくり」、「ふるさとを活かしたまちづくり」、「安心して暮らせるまちづくり」の3つの方針のもとで事業を実施することにより、「人が集まり、歩いて楽しむ、元気に暮らせる中心市街地」を目指している。

本市の中心市街地は、地域における行政、経済、文化、教育、医療、福祉、娯楽など、多様な都市機能が高度に集積されるとともに、鳥取県西部圏域の道路、鉄道等の交通網が中心市街地を起点に整備され、圏域の様々な便益を提供する「まちの心臓」としての役割も担ってきた。

しかしながら、近年においては、少子高齢化による定住人口の減少のほか、車社会の進展、郊外への大型店の進出等により、中心市街地に集積していたオフィス機能や商業機能も低下してきている。前計画の取り組みにより、中心市街地においては商業環境の整備、文化施設の拡充等による一定の成果が見られるが、引き続き都市機能の増進及び社会・経済活力の向上を総合的かつ一体的に推進する必要がある。

最近の状況としては、2核1モールの一つの核である角盤町周辺エリアにおいて、平成28年1月に「やよいデパート」が撤退し、また、平成28年度に角盤町周辺エリアでリーディング事業の計画の見直しが必要となった。それに伴い、当該エリア全体の事業再構築をするため、「角盤町エリア活性化プロジェクト会議」を中心市街地活性化基本計画に追加した。

今後は、同プロジェクトを中心に角盤町エリアの活性化に向けたコンセンサスを形成し、核にふさわしい集客・回遊ゾーンを再興すべく、事業者と関係機関が一体となって、効果的な事業実施に向け取り組むこととしている。

### 2. 平成28年度取組等に対する中心市街地活性化協議会の意見

角盤町エリアでは、米子高島屋近隣に立地していた「やよいデパート」が平成28年1月に撤退したことで、来街者が明らかに減少し、核店舗の一つを失った商店街の活気は低下した。

また平成28年度、中心市街地活性化基本計画でリーディング事業と位置づけた「商都米子再興戦略・キッズサポート施設整備事業」の事業見直しにより、当該事業とそれに連携した事業の実施は困難な状況となっている。

このような状況の下、当協議会が主催して「角盤町エリアまちづくり構想ワーキンググループ会議」が開催され、商業店舗だけではなく、「人が集まり、歩いて楽しむ、元気に暮らせる」まちづくりを目指すというコンセンサスが形成された。

平成28年12月には「やよいデパート」跡地の取得者が決まり、今後、角盤町商店街振興

組合、当該取得者、米子高島屋、米子市及び当協議会を中心に「角盤町エリア活性化プロジェクト会議」が立ち上げられる予定である。今後は、官民連携により先のコンセンサスに基づくまちづくりを目指していく中で、当該エリアの再興に繋がる支援体制が構築され、中心市街地活性化基本計画は順調に進捗していくものと評価している。

## II. 目標毎のフォローアップ結果

### 1. 目標達成の見通し

目標	目標指標	基準値	目標値	最新値	前回の見通し	今回の見通し
人が集いにぎわうまち	歩行者等通行量 (自転車含む)	12,945 人 (H26)	13,200 人 (H32)	11,645 人 (H28)	—	③
	駐車場の利用台数 (時間貸しのみ)	1,498,308 台 (H26)	1,515,000 台 (H32)	1,475,194 台 (H28)	①	③
歴史や文化、自然に触れ合えるまち	文化施設の利用者数	1,138,317 人 (H25)	1,140,000 人 (H32)	1,130,249 人 (H27)	—	③
	下町観光ガイドの利用者数	956 人 (H26)	1,380 人 (H32)	1,210 人 (H28)	①	③
住みたくなるまち	人口の社会増減	H22～27 年の平均 -5 人 (3 月末時点)	H28～33 年の平均をプラスに (3 月末時点)	-12 人 (H29)	①	②

#### <取組の進捗状況及び目標達成に関する見通しの分類>

- ①取組（事業等）の進捗状況が順調であり、目標達成可能であると見込まれる。
- ②取組の進捗状況は概ね予定どおりだが、このままでは目標達成可能とは見込まれず、今後対策を講じる必要がある。
- ③取組の進捗状況は予定どおりではないものの、目標達成可能と見込まれ、引き続き最大限努力していく。
- ④取組の進捗に支障が生じているなど、このままでは目標達成可能とは見込まれず、今後対策を講じる必要がある。

### 2. 目標達成見通しの理由

#### 【歩行者等通行量について】

角盤町エリアが、「やよいデパート」の撤退以降大きく減少している中であって、駅前エリアを中心とする他の3エリア合計値は過去7年間（平成21年度～27年度）ほぼ同程度を維持している。今後、角盤町エリア活性化プロジェクトにより当該エリアの数値が回復することにより、目標達成可能と見込まれる。

#### 【駐車場の利用台数について】

米子駅周辺の駐車場利用台数は好調に推移しており、中心市街地全体の利用台数を下支えている状況である。一方、角盤町エリアの駐車場利用台数は「やよいデパート」撤退の影響もあって下降気味となっているが、今後、角盤町エリア活性化プロジェクトにより賑わいが創出されることになれば、目標達成可能と見込まれる。

#### 【文化施設の利用者数について】

文化施設の利用者数については、概ね堅調に推移している。今後予定されている「山陰歴史館整備事業」の実施による利用者数の増加により、目標達成は可能であると見込まれる。

#### **【下町観光ガイドの利用者数について】**

利用者数については、旅行会社の「城めぐりツアー」から米子城跡が外されたことなどが影響し、目標値には至らなかった。そのような状況ではあるが、今後も、ニーズに対応したコース設定や情報発信を積極的に行うことでリピーターの増加にも繋がり、目標達成可能であると見込まれる。

#### **【人口の社会増減について】**

事業の取り組みは順調に進行しているものの、中心市街地人口の社会動態については、基準年値を下回る結果となった。今後も中心市街地の有利性を情報発信し、民間共同住宅の建設を促すことなどにより、目標達成を目指していく。

### **3. 前回のフォローアップと見通しが変わった場合の理由**

#### **【駐車場の利用台数について】**

リーディング事業と位置づけていた「商都米子再興戦略・キッズサポート施設整備事業」の事業見直しにより、「にぎわいのある商店街づくり事業」でも新規出店がなかった。一方で「やよいデパート」撤退は、確実に利用台数下降圧力になっていると見られることから、取り組みの進捗状況は予定どおりではなく、①から③へ見通しを変更した。

#### **【下町観光ガイドの利用者数について】**

「新規ルート設定による増加」や「米子のまち 小路めぐりマップ作成」による利用者数増加は予定どおりだったものの、旅行会社の「城めぐりツアー」から米子城跡が外されたことによる減少の影響が大きく、①から③へ見通しを変更した。

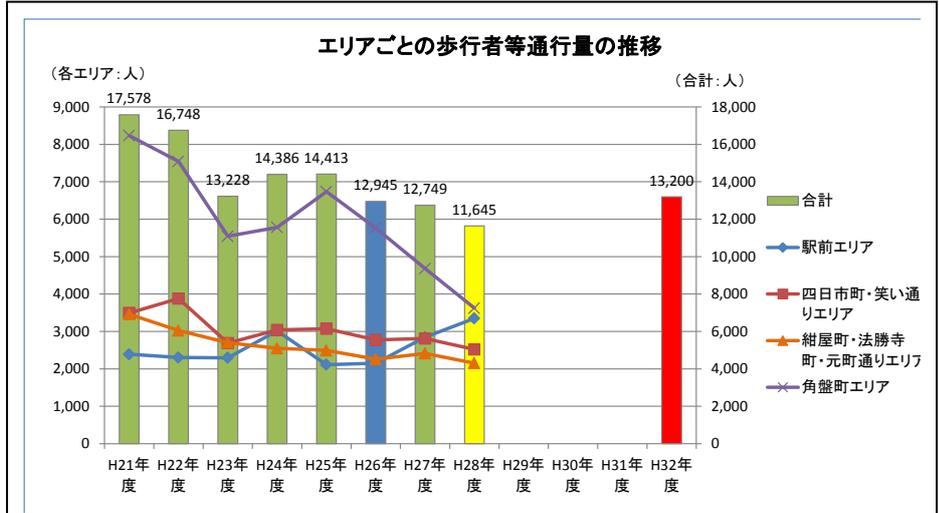
#### **【人口の社会増減について】**

「民間共同住宅建設事業」自体は順調に進捗しているものの、転入者を上回る転出者があり、昨年下げ止まった社会増減が再びマイナスに転じた。これを受けて、①から②へ見通しを変更した。

#### 4. 目標指標毎のフォローアップ結果

「歩行者等通行量（自転車を含む）」※目標設定の考え方基本計画 P58～P65 参照

##### ●調査結果の推移



年	(人/年度)
H26	12,945 (基準年値)
H27	12,749
H28	11,645
H29	
H30	
H31	
H32	13,200 (目標値)

※調査方法： 平日、休日の6日間実施。調査地点12地点において、調査時間を10時～17時までとし、毎時30分間計測。平日平均値、休日平均値を合計した。

※調査月： 平成28年10月・11月

※調査主体： 米子市

※調査対象： 自転車を含む中学生以上の歩行者

##### ●目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

###### ①. にぎわいのある商店街づくり事業（米子市）

事業完了時期	【実施中】平成17年度～		
事業概要	空き店舗に出店する事業者到店舗改修費等の助成を行い、商店街の魅力や集客力を高めるとともに、空き店舗の解消を図る。		
事業効果及び進捗状況	・新規出店見込み数と実績数		
	エリア名	見込み (H27～H32年度)	
	実績 (H27～H28年度)		
	法勝寺町・元町周辺	5店舗	1店舗
	四日市町周辺	8店舗	1店舗
	角盤町周辺	3店舗	1店舗
	其他地区	4店舗	0店舗
合計	20店舗	3店舗	
平成28年度は当該事業として進捗はなかったが、他事業の活用によりコミュニティ食堂、サテライト研究室・レンタルスペースなどが新規オープンしている。当該事業としては完了することにより200人の歩行者等通行量の増加を見込んでいるが、それら他事業との相乗効果により、まちなかの賑わい創出につなげたい。			

②. 新生米子市立図書館の運営（米子市）

事業完了時期	【実施中】平成25年度～
事業概要	図書の貸出しのみならず、ビジネス支援、多目的スペースを活用した市民の生涯学習の発表の機会の提供などを含めた図書館の運営
事業効果及び進捗状況	図書館の利用案内（パンフレット）、ホームページ、図書館だより（毎月1回発行）等に多目的スペースのPRやイベント案内を掲載し、特定のテーマに特化した展示コーナーを増やすなど利用促進に努め、多様なニーズに対応している。また図書館来館者数については、平成25年8月のリニューアルオープンで一時期増加したが、近年は落ち着きつつある。

③. 山陰歴史館整備事業（米子市）

事業完了時期	【未】平成31年度
事業概要	「伯耆の国よなご文化創造計画（後期計画）」に基づき、老朽化している山陰歴史館を整備することにより、来館者や利用者の拡大を図る。
事業効果及び進捗状況	平成27年度に米子市庁内プロジェクトチームを組織し、平成28年度は、利活用についての検討会議を開催した。米子城跡のガイダンスや下町散策の拠点施設として機能するよう整備が完了すれば、入館者数の増加が見込まれ、まちなかの賑わい創出につながる。

④. 米子駅南北自由通路等整備事業（米子市）

事業完了時期	【実施中】平成34年度
事業概要	鉄道で分断されている米子駅の南北地区をバリアフリー化に配慮した自由通路で連絡し、歩行者等の安全性・利便性の向上や駅周辺の活性化を図る。
事業効果及び進捗状況	平成26年度 事前調査 平成27年度 予備設計及び補償予備調査 平成28年度 補償本調査及び都市計画決定、詳細設計（駅南広場） 支障移転補償（H28～H34年度） 平成30年度 詳細設計（自由通路）（予定） 平成32年度 工事着手（予定） 事業が完了することにより、360人の通行量増加を見込んでおり、まちなかの賑わい創出につながる。

⑤. 民間共同住宅建設事業

事業完了時期	【実施中】平成27年度～
事業概要	民間事業者による共同住宅の建設
事業効果及び進捗状況	平成27年度 3棟（110戸） 竣工 平成28年度 3棟（48戸） 竣工 この共同住宅の建設により、次回調査時に効果が現れることを期待している。

⑥. 商都米子再興戦略・キッズサポート施設整備事業（(株)米子高島屋）

事業完了時期	【未】平成28年度～
事業概要	米子高島屋東館の空床スペースを改装し、子どもの遊びを通じた知育・体育プログラムを提供する施設の整備、子育て中の人へのニーズが満たせる子育てカフェ（ママカフェ）の設置、育児グッズや育児玩具を集積した売場の新設、地元のケーブルテレビ局と連携したスタジオの開設など整備を行う。
事業効果及び進捗状況	角盤町エリアにある「やよいデパート」の撤退の影響もあり、来街者数等に大きな変化が生じ、エリア全体の事業再構築が必要となった。現在は、「角盤町エリア活性化プロジェクト会議」を設置して活性化策を検討しており、当該事業も事業内容を見直して事業実施に向けて取り組むこととしている。

⑦. 商都米子再興戦略・商業施設整備事業（(株)リサ・クリエイティブプロダクツ）

事業完了時期	【未】平成28年度～
事業概要	子ども連れでも気軽に飲食等ができ、米子高島屋が整備を予定しているキッズサポート施設との相乗効果が期待できる商業施設の整備。
事業効果及び進捗状況	相乗効果を狙っていた米子高島屋の「商都米子再興戦略・キッズサポート施設整備事業」の事業見直し、同エリアにある「やよいデパート」の撤退などにより、角盤町エリア全体の事業再構築が必要となり、事業実施に至っていない。現在は、「角盤町エリア活性化プロジェクト会議」を設置して活性化策を検討しており、当該事業も周辺施設との連携を図りながら再度事業化への検討を行っていく。

⑧. よなごまちなかコミュニティ活性化支援事業（米子市）

事業完了時期	【実施中】平成27年度～
事業概要	地域活性化に資する生活支援サービスやコミュニティ拠点施設・ゲストハウスの運営、コミュニティビジネスの起業等の取組に要する経費を支援する。
事業効果及び進捗状況	平成27年度にオープンしたコミュニティスペース・ゲストハウスは順調に運営されているが、平成28年度は当該事業として進捗はなかった。

しかしながら、当該事業が完了することにより 50 人の通行量増加を見込んでおり、他事業の活用により新規オープンしたコミュニティ食堂、サテライト研究室・レンタルスペースなどとの相乗効果により、まちなかの賑わい創出につなげたい。
--

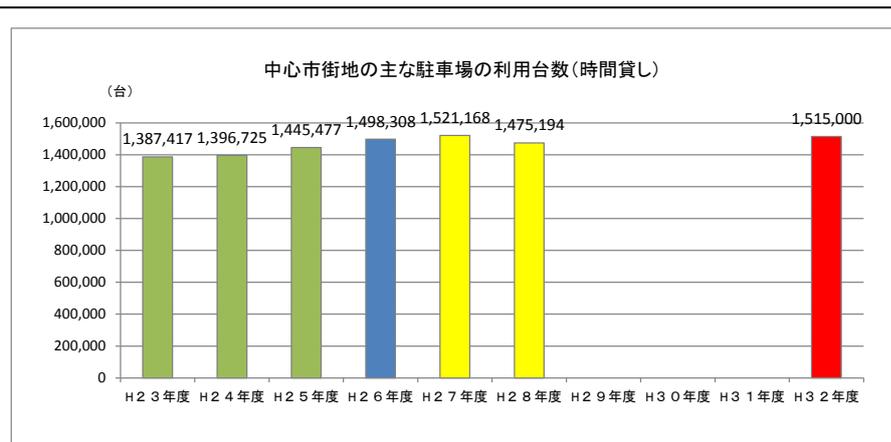
### ●目標達成の見通し及び今後の対策

歩行者等通行量の最新値（平成28年10月・11月調査）は、基準値と比較して約10%（1300人）減少している。従前から、中心市街地の歩行者等通行量は減少傾向にあり、特に角盤町エリアでは、「やよいデパート」の撤退以降、大きく減少しピーク時（平成21年度）の約半数となっている。中心市街地全体として減少傾向にある中で駅前エリアのみ増加しているが、このエリアは公共交通の結節点であり宿泊・飲食施設等も充実していることから、当面、順調な推移が期待できる。今後は、角盤町エリア活性化プロジェクトにより当該エリア一帯の賑わいを創出し、駅前エリアと合わせた二つの核を起点に中心市街地全体に効果を波及させ、目標達成に向けて実績を伸ばしていきたい。

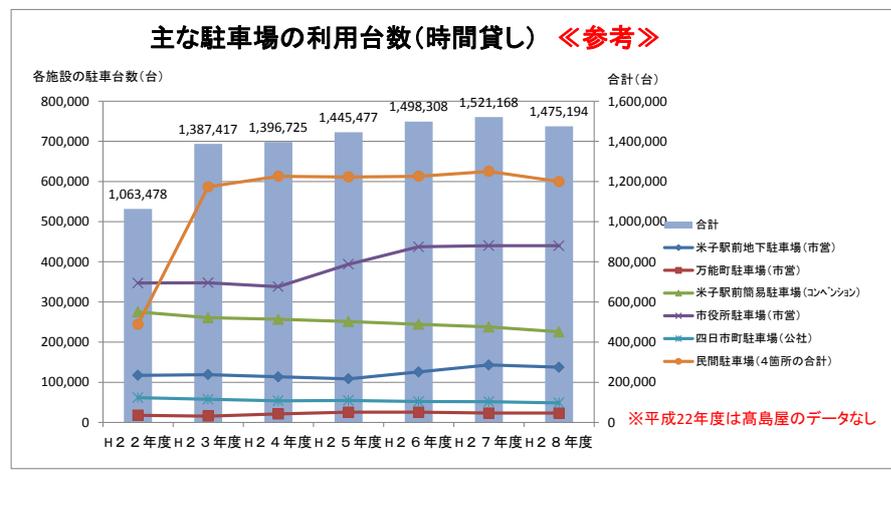
なお、平成27年度の数値は、認定前に実施した調査による。

「駐車場の利用台数（時間貸しのみ）」※目標設定の考え方基本計画 P65～P69 参照

●調査結果の推移



年	(台/年度)
H26	1,498,308 (基準年値)
H27	1,521,168
H28	1,475,194
H29	
H30	
H31	
H32	1,515,000 (目標値)



※調査方法： 公営・民間合わせて9箇所を設定し、各施設の所有者からの報告により把握。

※調査月： 平成29年4月（前年度4月～3月の合計）

※調査主体： 米子市

※調査対象： 米子駅前地下駐車場（市営）、万能町駐車場（市営）、米子駅前簡易駐車場（コンベンション）市役所駐車場（市営）、四日市町駐車場（公社）、民間駐車場（4箇所）の計9箇所の時間貸しのみ

●目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

①. 山陰歴史館整備事業（米子市）

事業完了時期	【未】平成31年度
事業概要	「伯耆の国よなご文化創造計画（後期計画）」に基づき、老朽化している山陰歴史館を整備することにより、来館者や利用者の拡大を図る。
事業効果及び進捗状況	平成27年度に米子市庁内プロジェクトチームを組織し、平成28年度は、利活用についての検討会議を開催した。整備が完了することにより、724台/年の利用台数の増加を見込んでおり、来街者をまちなかに呼び込む効果が期待される。

②. 商都米子再興戦略・キッズサポート施設整備事業（(株) 米子高島屋）

事業完了時期	【未】平成28年度～
事業概要	米子高島屋東館の空床スペースを改装し、子どもの遊びを通じた知育・体育プログラムを提供する施設の整備、子育て中の人々のニーズが満たせる子育てカフェ（ママカフェ）の設置、育児グッズや育児玩具を集積した売場の新設、地元のケーブルテレビ局と連携したスタジオの開設など整備を行う。
事業効果及び進捗状況	角盤町エリアにある「やよいデパート」の撤退の影響もあり、来街者数等に大きな変化が生じ、エリア全体の事業再構築が必要となった。現在は、「角盤町エリア活性化プロジェクト会議」を設置して活性化策を検討しており、当該事業も事業内容を見直して事業実施に向けて取り組むこととしている。

③. にぎわいのある商店街づくり事業（米子市）

事業完了時期	【実施中】平成17年度～		
事業概要	空き店舗に出店する事業者到店舗改修費等の助成を行い、商店街の魅力や集客力を高めるとともに、空き店舗の解消を図る。		
事業効果及び進捗状況	・新規出店見込み数と実績数		
	エリア名	見込み (H27～H32年度)	実績 (H27～H28年度)
	法勝寺町・元町周辺	5店舗	1店舗
	四日市町周辺	8店舗	1店舗
	角盤町周辺	3店舗	1店舗
	その他地区	4店舗	0店舗
	合計	20店舗	3店舗
平成28年度は当該事業として進捗はなかったが、他事業の活用によりコミュニティ食堂、サテライト研究室・レンタルスペースなどが新規オープンしている。当該事業としては完了することにより8,760台/年の利用台数増加を見込んでいるが、それら他事業との相乗効果により、より多くの来街者をまちなかに呼び込む効果に期待したい。			

④. 公会堂利用促進事業（米子市）

事業完了時期	【実施中】平成26年度～
事業概要	ホールはもとより、ホワイエは市民ギャラリーやミニコンサート等、広場は憩いの場やフリーマーケット等、多目的なイベント利用への働きかけをし、来街者を増やす。
事業効果及び進捗状況	平成26年3月のリニューアルオープン後、ホール利用に留まらず、ライブや夏まつり、イルミネーション点灯式などの様々なイベントが行われ、来街者増に繋がっている。前庭は全面に芝生が張られて開放的な空

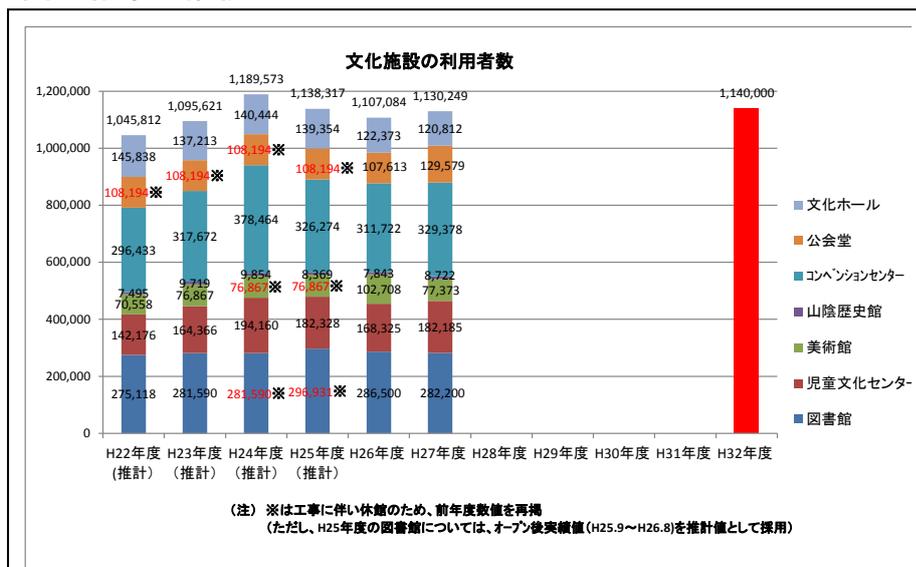
間となり、平成28年度においても、ダンスチームの練習やウォーキングイベントの集合場所、盆踊大会会場などとして活用されている。さらには、周辺商店街との連携による各種イベントを実施するなど、申請のある利用のみならず、数字に表れない市民の憩いの場としての効果も現れている。
---

### ●目標達成の見通し及び今後の対策

JR米子駅は交通の拠点としての機能を有しており、米子駅周辺エリアは、近年飲食店の出店やホテルの建設など賑わいを見せている。それに伴って米子駅周辺の駐車場利用台数は好調に推移しており、目標値は下回ったものの中心市街地全体の利用台数を下支えしている状況である。一方、角盤町エリアでは「やよいデパート」の撤退の影響もあって、来街者数等に大きな変化が生じエリア全体の事業再構築が必要となった。これを受け現在は、「角盤町エリア活性化プロジェクト会議」を設置して活性化策を検討しているところである。今後、当該エリア全体として事業が再構築されることになれば、賑わい創出による利用台数の増加も期待されることから、目標達成は可能であると見込まれる。

「文化施設の利用者数について」 ※目標設定の考え方基本計画 P70～P73 参照

●調査結果の推移



年	(人/年度)
H25	1,138,317 (基準年値)
H26	1,107,084
H27	1,130,249
H28	
H29	
H30	
H31	
H32	1,140,000 (目標値)

※調査方法： 事務報告等

※調査月： 平成28年9月 (前年度4月～3月の合計)

※調査主体： 米子市

※調査対象： 文化ホール、公会堂、コンベンションセンター、山陰歴史館、美術館、児童文化センター  
図書館の計7箇所の文化施設

●目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

①. 山陰歴史館整備事業 (米子市)

事業完了時期	【未】平成31年度
事業概要	「伯耆の国よなご文化創造計画 (後期計画)」に基づき、老朽化している山陰歴史館を整備することにより、来館者や利用者の拡大を図る。
事業効果及び進捗状況	平成27年度に米子市庁内プロジェクトチームを組織し、平成28年度は、利活用についての検討会議を開催した。整備の完了により、1,987人/年の利用者の増加を見込んでいる。

②. 新生米子市立図書館の運営 (米子市)

事業完了時期	【実施中】平成25年度～
事業概要	図書館の貸出しのみならず、ビジネス支援、多目的スペースを活用した市民の生涯学習の発表の機会の提供などを含めた図書館の運営
事業効果及び進捗状況	図書館の利用案内 (パンフレット)、ホームページ、図書館だより (毎月1回発行) 等に多目的スペースのPRやイベント案内を掲載し、特定のテーマに特化した展示コーナーを増やすなど利用促進に努め、多様なニーズに対応している。また図書館来館者数については、平成25年8月のリニューアルオープンで一時期増加したが、近年は落ち着きつつある。

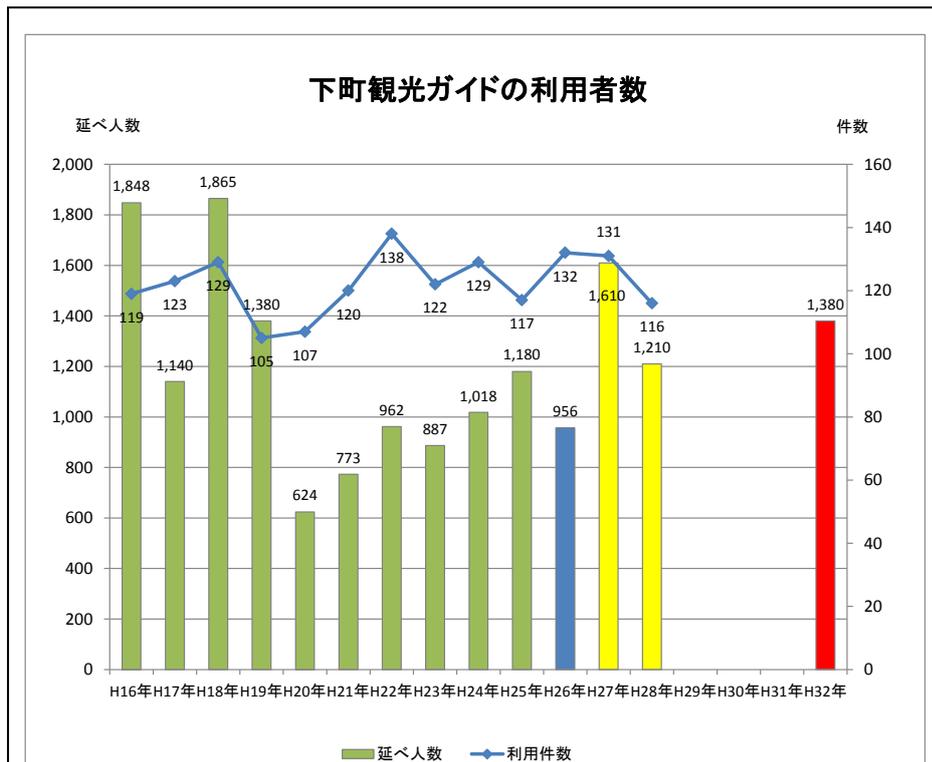
### ●目標達成の見通し及び今後の対策

文化施設の利用者数については、図書館・美術館拡充整備及び公会堂改修の効果もあり、概ね堅調に推移している。今後予定されている「山陰歴史館整備事業」の実施による利用者数の増加により、目標達成は可能であると見込まれる。

なお、平成26年度の数値は認定前の調査による。

「下町観光ガイドの利用者数について」 ※目標設定の考え方基本計画 P73～P75 参照

●調査結果の推移



年	(人/年)
H26	956 (基準年値)
H27	1,610
H28	1,210
H29	
H30	
H31	
H32	1,380 (目標値)

※調査方法： 米子市観光協会がとりまとめている利用者数を集計し、把握。

※調査月： 平成29年1月（前年1月～12月の合計）

※調査主体： 米子市

※調査対象： 下町観光ガイド利用者

●目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

①. 山陰歴史館整備に伴う増加

事業完了時期	【未】平成31年度
事業概要	米子城跡のガイダンスや下町散策の拠点施設としても機能するように整備し、市民や観光客が気軽に訪れることができる環境を整える。
事業効果及び進捗状況	平成27年度に米子市庁内プロジェクトチームを組織し、平成28年度は、利活用についての検討会議を開催した。整備の完了により、111人の下町観光ガイド利用者数増加を見込んでいる。

②. 新規ルート設定による増加

事業完了時期	【実施中】平成28年度～
事業概要	現在のモデルコースだけでなく、新規ルートの開発にも取り組むことによって、リピート客への対応や多様なニーズを受け入れる。
事業効果及び進捗状況	平成28年4月から米子の小路散策コース（鉄砲小路～荒神小路）が追加（利用者45人増）され、モデルコースが5つとなった。計画では、5年間で3コース程度の創設により、22人の利用者数増加を見込んで

いる。

③. まちなか「小路」案内板設置事業（よなごの88選実行委員会）

事業完了時期	【実施中】平成26年度～
事業概要	中心市街地に残る約400年前の「町割り」を形成する「小路」の位置や名称を特定し、案内板を設置する。
事業効果及び進捗状況	平成26年度11枚、平成27年度16枚、平成28年度4枚の案内板が設置された。これにより市民や観光客を城下町の面影が濃く残る町並みへ誘導し、「小路」の歴史や魅力をより感じながら散策することができるようになり、下町観光ガイドの充実と交流人口の増加に繋がった。

④. 米子のまち 小路めぐりマップ作成（よなごの88選実行委員会）

事業完了時期	【実施中】平成27年度～
事業概要	まちなかの「小路」の歴史的な背景を学ぶと共に、現代の町の魅力や歴史的背景を味わえるよう、楽しいまち歩き提案とマップを作成する。
事業効果及び進捗状況	29年3月にマップ完成。市民や観光客を城下町の面影が濃く残る町並みへ誘導し、「小路」の歴史や魅力を感じながら散策することにより、交流人口の増加に繋がった。

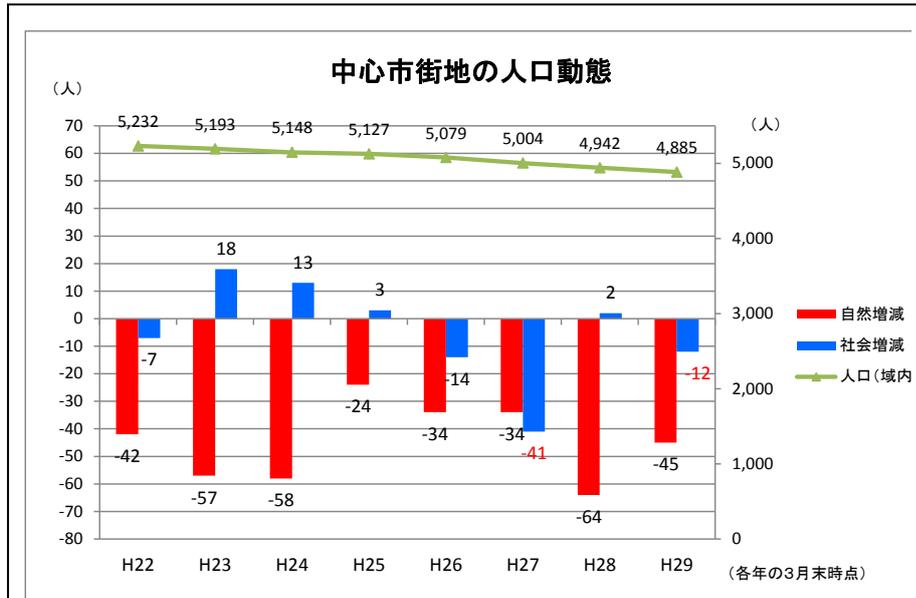
●目標達成の見通し及び今後の対策

平成28年の利用件数については、旅行会社の「城めぐりツアー」から米子城跡が外されたことなどが影響し、対前年比で約25%（400人）の減少となっている。ただし、基準年値から目標値への進捗という観点から見ると、概ね順調に推移している。

そのような状況のもと、平成28年4月から新規開設された「米子の小路散策コース」は、「まちなか小路マップ」完成との相乗効果により多様なニーズを掘り起こし、利用者数の底上げが期待される場所である。今後も、ニーズに対応したコース設定に努めるとともに、「まちなかを巡るモニターツアー」や「ブロガーを活用した情報発信」を積極的に行うことでまちなかの魅力をPRし、団体客のみならずリピーターの増加にも繋げることで目標達成は可能であると見込まれる。

「人口の社会増減について」 ※目標設定の考え方基本計画 P76～P79 参照

●調査結果の推移



年	(人)
H27	H22～27年の平均 -5人 (基準年値)
H28	2人
H29	-12人
H30	
H31	
H32	
H33	H28～33年の平均をプラスに (目標値)

※調査方法：住民基本台帳から集計

※調査月：平成29年4月（前年度4月～3月）

※調査主体：米子市

※調査対象：中心市街地区域内

●目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

①. 民間共同住宅建設事業

事業完了時期	【実施中】平成27年度～
事業概要	民間事業者による共同住宅の建設
事業効果及び進捗状況	平成27年度 3棟（110戸） 竣工 平成28年度 3棟（48戸） 竣工 この共同住宅の建設により、次回調査時に効果が現れることを期待している。

②. まちなか空家活用プロジェクト（米子まちなか空家活用プロジェクト運営会議）

事業完了時期	【実施中】平成25年度～
事業概要	空き家を改修し、地域交流スペース機能を備えた若者向けシェアハウスの整備及び「岩倉ふらっと」の管理・運営
事業効果及び進捗状況	新規物件については掘り起し中。 「岩倉ふらっと」では地域に開かれたイベントを継続的に開催しており、平成28年度は3回開催した。

### ●目標達成の見通し及び今後の対策

中心市街地の人口の社会増減については、平成27年度末に一旦プラスとなったが、平成28年度末では再びマイナスに転じた。これは、民間共同住宅の竣工に伴う転入者以上に転出者があったためと考えられる。

今後も中心市街地の高い機能性や利便性を情報発信し、民間共同住宅の建設を促すことにより、目標達成に向けて積極的に取り組んでいく。

